販売店名

製造販売業

フォナック・ジャパン株式会社

〒141-0031
東京都品川区西五反田 5-2-4
レキシントン・プラザ西五反田
TEL: 0120-06-4079
（お客様相談窓口営業時間　月～金 9:00～17:30）
FAX: 0120-23-4080
www.phonak.jp

FM 送信機 インスパイロ

inspiro

取扱説明書　Ver.3

029-0061-02/V3/2010-7/Printed in Japan © Phonak AG All rights reserved

PHONAK フォナック life is on

はじめに

このたびはフォナック社の FM システムをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

インスパイロ（inspiro）は学校生活用にデザインされた Dynamic（ダイナミック） FM（エフ・エム） システム送信機です。ご利用の前に、本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。また本書の末尾には切り離して携帯できるクイックガイドがありますのでご活用ください。本書にご不明な点がございましたら、本書裏面の「フォナック・カスタマーサービス」までお問い合わせください。お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。

もくじ

安全上のご注意 4
1．ポイント 10
2．本体付属品 13
3．本体各部の名称 14
4．インスパイロの準備 16
5．インスパイロを使用する 18
6．授業中での便利な機能 28
7．Dynamic FM 機能 32
8．操作メニュー一覧 43
9．トラブルシューティング 59
10．保証期間とアフターサービス 63
11．補足 64
インスパイロ クイックガイド 67

安全上のご注意

- お使いになる前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 以下に示した注意事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載しておりますので、必ずお守りください。
- 次の表示区分は表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

危険	この表示は取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告	この表示は取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示は取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

インスパイロ、バッテリーの取り扱いについて

危険

- 弊社が指定したバッテリーを必ず使用してください。指定以外のバッテリーを使用した場合、インスパイロやバッテリー、その他機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。
- 分解、改造をしないでください。感電、火災、故障、けがなどの原因となります。
- 濡らさないでください。発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所や取り扱いに注意してください。
- 火のそばや直射日光の強いところ、炎天下の車内など高温の場所で使用したり放置したりしないでください。機器の変形、故障、バッテリーの漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。

警告

- 強い衝撃を与えたり投げつけたりしないでください。バッテリーの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。
- 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。漏液、発熱、破裂、発火の原因となります。
- 使用中や充電中、保管時に異臭、発熱、変色、変形など今までと異なる症状がある際には、直ちに以下の作業を行ってください。そのまま使用すると発熱、破裂、発火またはバッテリーの漏液の原因となります。
  1. 電源プラグをコンセントから抜く。
  2. インスパイロの電源を切る。

- 航空機内など電子機器の使用を禁止された区域ではインスパイロの電源を切ってください。電子機器や医療用電気機器に影響を与える場合があります。病院など電波を発する機器の使用に制限がある場所では各機関の指示に従ってください。
- ペースメーカーなど医療機器の装用者がインスパイロを使用する際は医療機器製造会社や医師の指示に従ってください。

注意

- 湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には置かないでください。
- 充電の際にインスパイロ本体や AC アダプターの温度が高くなることがあります。

AC アダプターの取り扱いについて

警告

- 充電の際にはインスパイロ専用の AC アダプターを使用してください（Model No. 3A-041WU05）。
- 濡れた手で AC アダプターのコードやコンセントに触れないでください。感電の原因となります。
- 濡らさないでください。発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所や取り扱いに注意してください。
- 風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。感電の原因となります。
- 長時間使用しない場合、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電、火災、故障の原因となります。
- コンセントにつながれた状態で、充電用端子に手や指など体の一部を触れさせないでください。感電、傷害、故障の原因となります。
- AC アダプターをコンセントに差し込むときは金属類を触れさせないよう注意し、確実に差し込んでください。誤った場合、感電、ショート、火災の原因となります。
- 指定の電源、電圧で使用してください。誤った場合、火災、故障の原因となります。
- 電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。火災の原因となります。
- 雷が鳴り出したら、インスパイロ本体、AC アダプターには触れないでください。落雷、感電の原因となります。

・ 充電中は AC アダプターを安定した場所に置いてください。また AC アダプターを布などで覆ったり、包んだりしないでください。火災、故障の原因となります。
注意
・ AC アダプターをコンセントから抜く場合はコードを引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。感電、火災、故障の原因となります。 ・ AC アダプターのコードの上に重いものを載せないでください。感電、火災の原因となります。

その他の注意事項

- 室内で同じチャンネルの送信機を複数台使用することはできません。干渉ノイズが発生します。ただしマルチ・トーカー・ネットワーク利用中を除きます（37 ページ参照）。
- お手入れの際は水や洗剤を使用しないでください。
- 専用の付属品を使用してください。
- 送信機 Campus SX 付属の MM8 や MicroBoom はインスパイロのマイクロホンとして使用することができません。
- FM 電波は近くで使用している他の受信機でも受信される場合があります。
- インスパイロの修理はフォナック・ジャパンまたはフォナック・ジャパンの指定するサービスセンターのみで可能です。
- お客様によるインスパイロのバッテリー交換はできません。バッテリーを取り外さないでください。
- FM 製品で使用する電波（169MHz 帯）は各国の電波法で規制されています。国内で購入された FM 製品を海外で使用したり、海外で購入された FM 製品を国内で使用したりすると電波法違反となるためご注意ください。
- この製品はテレビ電波に近い周波数を使用していますので、テレビ放送塔から 1km 以内の地域で使用した場合に雑音が混入することがあります。
- この製品をテレビアンテナや受像機の近くで使用した場合に、テレビ画像に乱れが生じる場合があります。その様な場合には送信機をアンテナや受像機から離してください。

1. ポイント

✦ インスパイロの使用可能時間

フル充電	約 10 時間

✦ インスパイロの充電時間

フル充電	約 2 時間
80% 充電	約 1 時間

※ インスパイロにはリチウムポリマー二次電池が使用されています。

※ インスパイロは充電しながら使用することができますが、電源ノイズを拾う可能性があります。

✦ インスパイロの使用可能距離

送信機と受信機の間の距離をさします。使用可能距離は最大 30 m です。

※ 高出力の電気製品が近くにある場合や金属に囲まれた部屋などでは使用可能距離が短くなる場合があります。室内で安定して使用することができる距離は約 15 m です。

✦ 外部マイクロホンのコードについて

マイクロホンのコードはアンテナを兼ねています。使用中はコードを伸ばした状態で使用してください。無理に引っ張ったり折り曲げたりしないで、注意深く取り扱ってください。

✦ 補聴器、人工内耳の FM 用プログラムについて

受信機を接続する補聴器や人工内耳によっては FM 用プログラムを設定する必要があります。補聴器や人工内耳の FM 用プログラムの設定や切り替え方法については販売店またはかかりつけの病院にお問い合わせください。

✦ フォナック FM 製品のシリーズについて

FM システムを使用するには送信機と受信機が必要となります。フォナック FM 製品は Dynamic FM システム（i シリーズ製品）とマルチ・チャンネル FM システム（S シリーズ製品）があります。インスパイロは Dynamic FM システムの送信機です。

i シリーズ製品（Dynamic FM システム）
送信機：インスパイロ、ZoomLink+、EasyLink+ 受信機：MLxi、ML11i、ML10i、ML9i、ML12i、MyLink+ など
S シリーズ製品（マルチ・チャンネル FM システム）
送信機：ZoomLink、EasyLink 受信機：MicroMLxS、MicroLink Freedom、MyLink など

お使いの受信機の型式および製品シリーズを記録してください。

お使いの受信機：

受信機の製品シリーズ（〇を記入）：　i シリーズ　　S シリーズ

✦ シリーズの組み合わせによる機能表

i シリーズ、S シリーズの送信機と受信機は同じ 169MHz 帯を利用した FM 製品であるため、組み合わせて使用することができます。インスパイロと i シリーズ受信機の組み合わせで Dynamic FM 機能（下表：No.1-No.7）を最大限に活用できます。

■：できる　ー：できない

送信機（シリーズ名）		i（インスパイロ）	i（インスパイロ）
受信機（シリーズ名）		i	S
	基本 FM 機能（FM 電波の送受信、チャンネル変更など）	■	■
1	オート FM 音量コントローラー	■	ー
2	オートコネクト	■	ー
3	マルチ・トーカー・ネットワーク（37 ページ）	■	■
4	音量チェック（35 ページ）	■	■
5	受信機チェック（33 ページ）	■	ー
6	チャンネル検索（45 ページ）	■	ー
7	FM データログ	■	■

2. 本体付属品

1. インスパイロ本体
（外部マイクロホン付属）

inspiro iLapel　　inspiro iBoom

2. インスパイロ用ベルトクリップ
3. インスパイロ用ネックストラップ

4. ミニピンプラグ・オーディオ・ケーブル

5. AC アダプター（Model No. 3A-041WU05）

6. トラベルケース

7. 取扱説明書（本書）
8. 保証書

3. 本体各部の名称

インスパイロ本体

表面

① 電源オン／オフ スイッチ
② ディスプレイ画面
③ ソフトキー
④ キーロック／リターン キー
⑤ マイクロホン ミュートキー
⑥ アップ／ダウンキー
⑦ OK キー

ディスプレイ

A. マイクロホンマーク
B. キーロックマーク
C. バッテリーマーク
D. 日付／時刻
E. チャンネル番号
F. シリアル番号（または登録名）
G. ソフトキーの操作メニュー

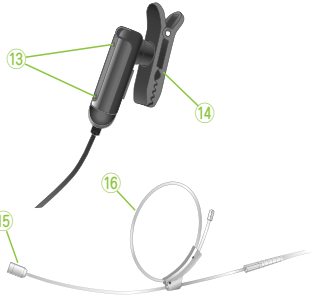
底面

⑧ 外部入力用端子（3.5 mm）
⑨ 充電用端子（ミニ USB）

裏面

⑩ ボタン
⑪ マイクコード収納部
⑫ カバー
（ボタンを反時計回りに回しカバーを外すと、インスパイロのシリアル番号が確認できます）

外部マイクロホン



アイ・ラベル
iLapel（inspiro iLapel の場合）
⑬ 指向性マイクロホン
⑭ クリップ

アイ・ブーム
iBoom（inspiro iBoom の場合）
⑮ 無指向性マイクロホン
⑯ イヤーループ調節部

※ 外部マイクロホンの交換は 66 ページを参照してください。

4. インスパイロの準備

4-1. インスパイロを充電する

インスパイロには繰り返し充電が可能なリチウムポリマー二次電池が使用されています。充電に要する時間は以下の通りです。

フル充電	約 2 時間
80% 充電	約 1 時間

初めてインスパイロを使用する際はフル充電を行ってください。必ず付属の AC アダプター（Model No. 3A-041WU05）を使用してください。

1. AC アダプターの電源プラグをコンセントに差し込みます。
2. AC アダプターのミニ USB コネクターを充電用端子に差し込みます。充電が開始されます。充電中はディスプレイ上のバッテリーマークが点滅します。バッテリーは過充電されません。

バッテリー残量がフルの状態では四角が 4 つ表示されます。

4-2. バッテリーアラームについて

インスパイロにはバイブレータが内蔵されており、バッテリー残量が少なくなった際、アラームとしてバイブレータが振動します。

1 回目のアラーム バッテリー残量が残り約 1 時間	バイブレータが振動します。ディスプレイ上のメッセージを確認し必要に応じて充電してください。
2 回目のアラーム バッテリー残量が残り約 15 分間	1 回目のアラームの後にインスパイロを充電しなかった場合、バッテリー残量が完全に無くなる前に 2 回目のアラームとしてバイブレータが振動します。ディスプレイ上のメッセージを確認し充電してください。この時点で充電しなかった場合、15 分後にインスパイロは自動でオフになります。

※ インスパイロは充電しながら使用することができますが、電源ノイズを拾う可能性があります。

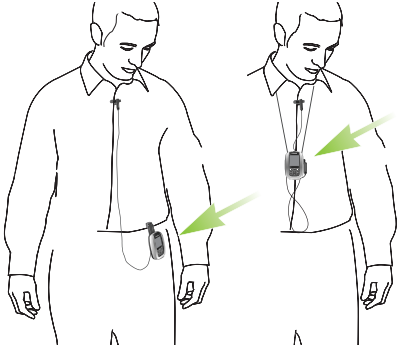
5. インスパイロを使用する

以下の手順に従って、インスパイロを使用してください。

5-1	本体を装着する
5-2	外部マイクロホンを装着する
5-3	インスパイロの電源をオンにする
5-4	受信機のチャンネルを同期する
5-5	話す

5-1. 本体を装着する

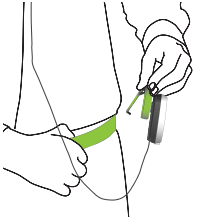
インスパイロはベルト装着（左）と首かけ装着（右）の 2 つの装着スタイルが選べます。付属のインスパイロ用ベルトクリップ、ネックストラップを使用してください。



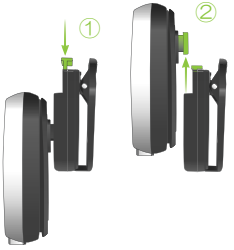
5-1a：ベルトクリップによる装着の場合

1. インスパイロ裏面のボタンと付属のインスパイロ用ベルトクリップを合わせます（①）。インスパイロを下にスライドさせ、カチッと音がするまでしっかりとクリップに取り付けます（②）。

2. ベルトもしくはパンツの端にベルトクリップを挟んで装着してください。



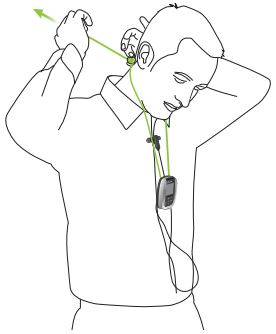
3. インスパイロからベルトクリップを取り外す場合は、①の部分を押し、インスパイロを上にスライドさせ（②）、丁寧に取り外してください。



5-1b：ネックストラップによる装着の場合

1. インスパイロ裏面のボタンと付属のインスパイロ用ネックストラップ（①）を合わせます。ネックストラップを上にスライドさせ（②）、カチッと音がするまでしっかりと取り付けます（③）。

2. ストラップの長さを適宜調節します。その際、マイクロホンのコードが巻き込まれないよう注意してください。



5-2. 外部マイクロホンを装着する

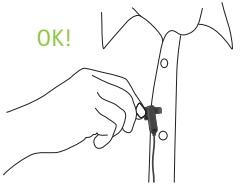
マイクロホンのコードはアンテナを兼ねているため、インスパイロ本体からコードを**全てほどき、伸ばした状態で使用します**。無理に引っ張ったり曲げたりせず、注意深く取り扱ってください。

5-2a：iLapel（アイ・ラペル）の場合

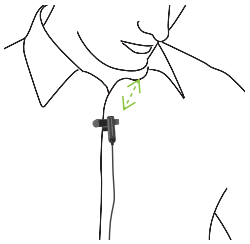
iLapel はピンマイク型の指向性マイクロホンです。

1. インスパイロ本体から iLapel のコードを**全てほどきます**。

2. 口元から 15〜20 cm の位置にくるようクリップを服に挟んでください。マイクロホンが縦を向くように取り付けます。



○

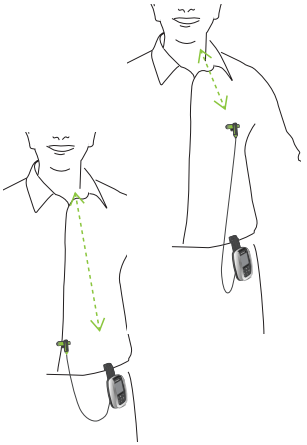


正しい装着例

口元との距離が 15-20 cm。

マイクロホンが縦方向に並んでいる。

×



誤った装着例

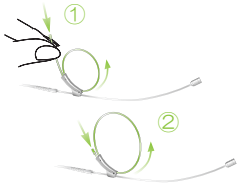
口元との距離が離れすぎている。

iLapel に二つの穴があり、この部分がマイクロホンになっています。マイクロホン部分を手で覆ったりシャツに触れたりしないように注意してください。

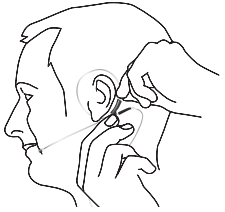
5-2b：iBoom（アイ・ブーム）の場合

iBoom は耳かけ型の無指向性マイクロホンです。顔の向きに関係なく口元との距離が一定に保つことができます。

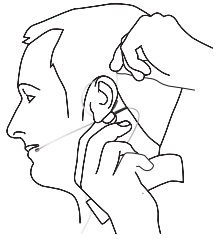
1. イヤーループ調節部分の輪を注意深く広げます。



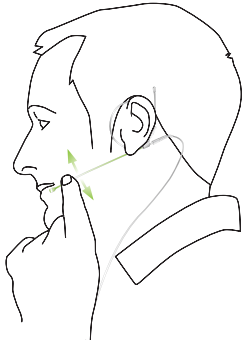
2. 耳に iBoom を取り付けます。



3. 片方の手で iBoom を動かさないように持ち、もう片方の手でイヤーループ部分のサイズを調節して、耳にフィットさせてください。



4. マイクロホンの先端部を適宜回転させ、口元に近づくよう調節します。



5. iBoom のコードはクリップで衣服に留めてください。

注意：iBoom のブーム部分は無理に折り曲げたりねじったりしないでください。断線の原因となります。

5-3. インスパイロの電源をオンにする

電源をオンにする 	電源スイッチを左にスライドさせます。緑のマークが見えます。ディスプレイが点灯し中心にチャンネル番号が表示されます。 ※ 一定の時間が経過するとディスプレイが消灯しバッテリーを節約します。何れかのキーを押せば、ディスプレイが点灯します。
電源をオフにする 	電源スイッチを右に戻します。緑のマークが見えなくなります。

注意：インスパイロが充電されているにもかかわらず、電源をオンにしてもディスプレイが点灯せず、真っ暗の状態の場合はインスパイロがフリーズしている可能性があります。トラブルシュートの 62 ページを参照し、インスパイロをリセットしてください。

5-4. 受信機のチャンネルを同期する

フォナックの送受信機には 5 つのチャンネル H91、H92、H96、H98、H99 が登録されています。FM 電波を受信するために、受信機をインスパイロと同じチャンネルに同期しておく必要があります。例えばインスパイロのチャンネルが H91 の場合、受信機のチャンネルも H91 に同期しておきます。

1. インスパイロのディスプレイに表示されているチャンネルに同期します。インスパイロのチャンネルを変更したい場合は 44 ページを参照してください。
2. 受信機が接続された補聴器の電源をオンにし、必要に応じて FM 用プログラムに切り替えます。インスパイロを受信機に近付けます（約 20 cm 以内）。
3. 同期ソフトキーを押します。インスパイロからの信号が受信機に届くとビープ音が聞こえます。

ポイント：

- 受信機のデフォルト・チャンネルがインスパイロのディスプレイに表示されているチャンネルと一致している場合、同期操作は必要ありません。
- i シリーズ受信機の場合、受信機チェック機能で同期されたかどうかを確認することができます（33 ページ参照）。

5-5. 話す

1. 話し手はインスパイロを使用する前に以下の点を注意してください。

- ❒ インスパイロの電源がオンになっており、バッテリーが切れていないこと（16、25 ページ）
- ❒ マイクロホンが正しい位置に取り付けられていること（21 ページ）
- ❒ マイクロホンがミュートになっていないこと（29 ページ）
- ❒ 受信機が接続された補聴器の電源がオンになっており、必要に応じて FM 用プログラムに切り替えられていること
- ❒ インスパイロと受信機のチャンネルが同期されていること（26 ページ）

2. 普段通りの声の大きさとスピードで話してみてください。聞き手の反応を見ながら、インスパイロからの音声がきちんと届いているかどうかを確認してください。

注意：インスパイロの電源をオンにした後は、マイクロホン部位を触らないでください。マイクロホンを触っている音や服に擦れた音が聞き手に聞こえます。インスパイロを使用中にマイクロホンの位置を直す場合はマイクロホンをミュートにしてください（29 ページ参照）。

6. 授業中での便利な機能

インスパイロは学校の授業中で活用できる便利な機能を備えています。

6-1	キーロック機能
6-2	ミュート機能
6-3	外部入力機器（テレビや CD などのオーディオ機器）との接続

6-1. キーロック機能

インスパイロにはキーを押しても反応しない状態にする誤操作防止（キーロック）機能があります。授業中は常にキーロックをオンにすることをおすすめします。

● キーロックをオンにする

キーロックキーを押すとディスプレイ上にメッセージが表示されます。OK キーを押してください。ディスプレイの上段にキーロックマークが表示されます。

注意：キーロックをオンに設定した状態でも、インスパイロ本体の電源オン／オフスイッチは操作できます。

● キーロックを解除する

再びキーロックキーを押すとディスプレイ上にメッセージが表示されます。メッセージに従い OK キーを押してください。ディスプレイの上段のキーロックマークが消えます。

6-2. ミュート機能

インスパイロを使用中、生徒に音声を聞かせたくない時はマイクロホンをミュートにしてください。ミュートにするとマイクロホンをオフにすることができます。

マイクロホン ミュートキーを押すことでミュートのオン／オフの切り換えができます。

ディスプレイの上段に表示されているマイクロホンマークでマイクロホンの状態をお知らせします。

ミュート状態にしたまま 15 分経過するとインスパイロのバイブレータが振動してお知らせします。引き続きミュートを継続する場合は再度ミュートに設定してください。

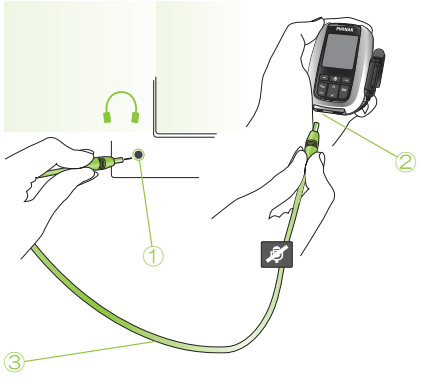
マイクロホンマーク

	マイクロホン　ミュート　オフ （マイクロホンが話し手の声を拾う状態）
	マイクロホン　ミュート　オン （マイクロホンが話し手の声を拾わない状態）

6-3. 外部入力機器との接続

インスパイロはテレビ、CD/MD プレーヤー、MP3 プレーヤー、パソコンなどの外部入力機器と接続することができます。

1. 付属のミニピンプラグ・オーディオ・ケーブル（③）の一端を外部入力機器のヘッドホン端子（①）、もう一端をインスパイロ底面にある外部入力端子（3.5 mm）に接続します（②）。ディスプレイの上段にオーディオマークが表示されます。
2. マイクロホンのコードはアンテナを兼ねているため、外部入力機器を接続したときもマイクロホンのコードは常に伸ばした状態で使用してください。



ポイント

- 外部入力機器を接続するとマイクロホンがミュートになり、外部入力機器の音声だけが聞こえる状態になります。操作メニューの“各種設定”で外部入力機器と接続したときのミュート オン／オフを選択でき、外部入力機器と話し手の音声が一緒に聞こえるようにできます（56 ページ参照）。
- インスパイロを接続したとき、テレビの機種によってはスピーカーから音声が出なくなります。テレビやビデオなどの外部出力端子を利用する場合はオーディオプラグ変換ケーブル（別売）を使用してください。

7. Dynamic FM（ダイナミック エフ・エム）機能

インスパイロは Dynamic FM システムの機能を持つ送信機です。受信機チェック、チャンネル検索機能はインスパイロと i シリーズ受信機（MLxi、ML9i、ML10i、ML11i、ML12i、MyLink+ など）が交信して行います。

No.	Dynamic FM 機能	必要な受信機シリーズ
7-1	受信機チェック	i シリーズ受信機
7-2	音量チェック	
7-3	チャンネル検索	i シリーズ受信機
7-4	マルチ・トーカー・ネットワーク（MTN）	i、S シリーズ受信機

※ 製品シリーズの詳細は 11 ページを参照してください。

7-1. 受信機チェック

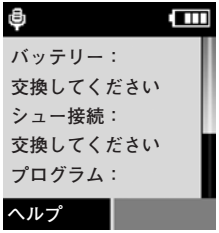
インスパイロから i シリーズ受信機（MLxi、ML9i、ML10i、ML11i、ML12i、MyLink+ など）の状態を確認できます。一度に両耳の受信機をチェックできます。3 台以上の受信機は同時にチェックできません。本機能のチェック項目は以下の通りです。

1. 補聴器のバッテリー残量
2. シュー接続状態
3. 補聴器のプログラム状態
4. 同期状況

1. 他の受信機ユーザーが近くにいないこと、パソコンが近くにないことを確認してください。
2. i シリーズ受信機が接続された補聴器の電源をオンにします。必要に応じて補聴器を FM 用プログラムに切り替えます。
3. インスパイロを受信機に近付けます。以下の写真を参考にしてください。

4. 受信機ソフトキーを押します。インスパイロが受信機チェックを開始します。チェックが終了するまで、インスパイロを受信機に近付けたままにしてください。

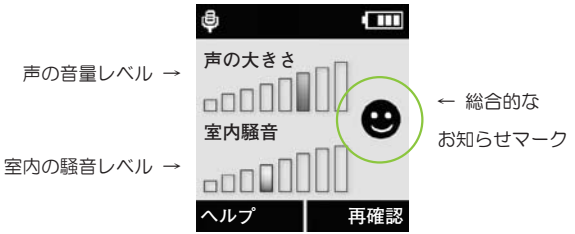
5. 受信機チェックが終了すると受信機（補聴器）からビープ音が聞こえ、ディスプレイ上に検出された受信機の製品名（または登録名）が表示されます。
6. アップ／ダウンキーで受信機を選択しOKキーを押してください。この時点ではチェックが終了しているため、インスパイロを受信機から離しても構いません。



7-2. 音量チェック

マイクの音量レベルと室内の騒音レベルを同時にモニターし、聞き取り環境を総合的に判断する機能です。音量チェックすることにより、マイクロホンの位置が正しいかどうか、室内の騒音を抑えるべきかどうかの目安となります。

1. 操作メニューの“音量チェック”を選択します。ディスプレイ上にメッセージが表示されます。話し手は普段通りにインスパイロ、外部マイクロホンを装着します。OKソフトキーを押し、顔マークが表示されるまで普段通りの声の大きさで話し続けてください。
2. バーの色と顔マークで聞き取り環境をお知らせします。



上：声の音量レベル	
良好	緑色のバーで表示。
不良	黄もしくは赤色のバーで表示。マイクロホンの位置を調節し直したり、もう少し大きな声で話したり工夫してみてください。

下：室内の騒音レベル	
低い	緑色のバーで表示。
高い	黄もしくは赤色のバーで表示。室内の騒音を低く抑える工夫が必要です。

顔マーク	
	聞き取り環境は良好です。
	聞き取り環境をできれば改善してください。
	聞き取り環境を改善してください。

7-3. チャンネル検索

チャンネル検索については 45 ページを参照してください。

7-4. マルチ・トーカー・ネットワーク（MTN）

同じ教室で複数の先生が授業を行うことをチーム・ティーチングと言います。インスパイロにはチーム・ティーチング機能が標準搭載されており、同じ教室内で複数の送信機を使用することができます（マルチ・トーカー・ネットワーク、以下 MTN と略す）。MTN でメインとなる先生が持つインスパイロを「親機」、MTN に参加する 2 台目以降のインスパイロを「子機」として設定します。MTN のポイントは以下の 2 点です。

- **常に 1 台のインスパイロから音声が送信されること。**
- **親機からの音声が子機より優先され、子機からの音声は親機が話していないときのみ送信されること。**

生徒の聞こえに配慮して同時に 2 人以上話さず、1 人ずつ話すよう心掛けてください。

例：3 人の先生で MTN を行う場合

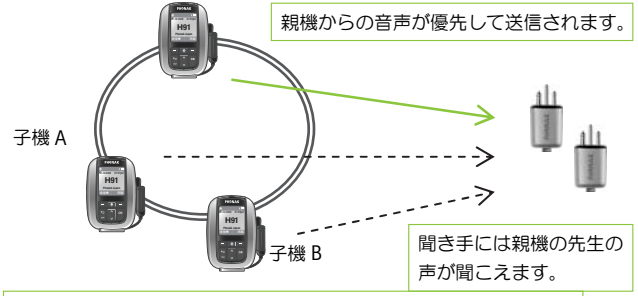
親機

MTN でメインとなる先生のインスパイロを「親機」として設定します。子機より優先順位が高く、常に親機の音声が優先されます。

子機 A　子機 B

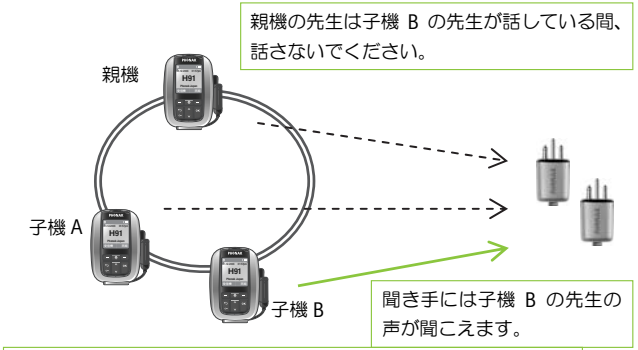
MTN に参加する先生のインスパイロを「子機」として設定します。ここでは「子機 A」と「子機 B」とします。子機の間では優先順位がありません。

● 親機の先生が話す場合



親機の先生が話しているとき、A、B 子機の先生の声は届きません。

● 子機 B の先生が話す場合



子機 B の先生の声が受信機に送信されます。子機 A の先生は子機 B の先生が話している間、話さないでください。子機 A の先生は子機 B の先生が話し終わったら、話してください。

MTN を行う上での注意：

- インスパイロには MTN 機能が標準搭載されています。どのインスパイロでも親機、子機に設定できます。
- MTN はインスパイロでのみ可能です。ダイナマイクは子機としてなら設定可能です。
- MTN 中、子機の先生は親機の先生の 8 m 以内にいるようにしてください。不意に離れすぎてしまった場合、バイブレータが振動してお知らせします。
- 常に 1 台のインスパイロから音声が送信されます。多くの先生が MTN に参加する場合は同時に 2 人以上の話し手が話さないようにしてください。意図しない声をマイクロホンが拾ってしまうことを避けるため、話していない間はマイクロホンのミュート機能を活用してください（29 ページ参照）。
- 生徒の聞こえを考慮し、あらかじめ先生の間で話す順番のルールを決めたり、旗のような目印を持ってどの話し手が話しているのかを視覚的に分かりやすく表現したりするなど工夫が必要です。

7-4a. MTN を開始する

MTN の準備は授業が始まる前に行ってください。

1. MTN に参加する全てのインスパイロの電源を一旦オフにしてください。
2. メインとなる先生が持つインスパイロ（親機）のみ電源をオンにします。操作メニューの“MTN 設定”から“ペアリング”を選択し OK キーを押します。親機のディスプレイ上にメッセージが表示されます。
3. 参加する先生のインスパイロ（子機）の電源をオフにしたまま、親機の 1 m 以内に近付けます。
4. 親機で OK ソフトキーを押した後、すぐに子機の電源をオンにして待機します。
5. 親機のディスプレイ上に「ペアリング中」と表示されます。ペアリングが完了するとペアリングした子機のシリアル番号（または登録名）が表示されます。全ての子機のシリアル番号（登録名）が表示されたことを確認し、OK ソフトキーを押します。
6. 親機のディスプレイ上に「MTN 中：親機」、子機に「MTN 中：子機」と表示されると、MTN の準備が完了です。

7. MTN 中は同時に複数の人が話さず、1 人ずつ話すことが大切です。MTN では親機からの音声が優先されるため、親機の先生は特に注意が必要です。別の先生が話している間はマイクロホンをミュートにすることをおすすめします（29 ページ参照）。

7-4b. MTN を終了する

● 親機の場合

親機の MTN 設定が終了するとネットワーク全体が終了します。

1. 操作メニューの“MTN 設定”から“MTN 終了”を選択し、選択 ソフトキーを押します。
2. 終了させた親機は通常モードに変わります。
3. 参加中の子機のディスプレイ上には「MTN 圏外です」と表示され、バイブレータが振動してネットワーク全体が終了したことをお知らせします。

● 子機の場合

いつでもマルチ・トーカー・ネットワークから抜けられます。

1. 操作メニューの“MTN 設定”から“MTN 終了”を選択し、選択 ソフトキーを押します。
2. 終了した子機は通常モードに変わります。

※ 親機から8 m以上離れると、バイブレータが振動してお知らせします。MTN に参加し続ける場合、親機から 8 m 以内に近付いてください。MTN に参加しない場合、そのまま 8 m 以上離れてください。その子機は自動で通常モードに切り替わります。

MTN の役立つポイント

- MTN 中でもインスパイロは 1 つのチャンネルを使用しています。
- インスパイロの電源をオフにしても MTN 設定は残ります。MTN 中、インスパイロの電源をオフにし、再度オンにして何れかのキーを押せば、MTN が再開できます。
- MTN 設定後、別のインスパイロが MTN に参加する場合は再度設定し直す必要があります。例えば 4 人の先生で MTN をしていて、5 人目の先生が新たに参加する際、4 人での MTN を一旦終了し、新たに 5 人での設定を行ってください。
- インスパイロが MTN を終了して通常モードに切り替わった際、自動的に直前に使用していたチャンネルがディスプレイ上に表示されます。
- MTN 中、親機のチャンネルが変更した場合、参加中の子機も自動で新しいチャンネルに変更し、そのまま MTN を続けることができます。その際は受信機の同期を忘れないでください。

8. 操作メニュー 一覧

インスパイロのアップ／ダウンキーを押すと、各種操作メニューが表示されます。

8-1. チャンネル

インスパイロのチャンネル機能は 3 つあります。チャンネル検索は i シリーズ受信機と交信して行います。

No.	Dynamic FM 機能	必要な受信機
8-1a	チャンネル変更	
8-1b	チャンネル検索	i シリーズ受信機
8-1c	受信機の同期	i、S シリーズ受信機

8-1a. チャンネル変更

インスパイロのチャンネルを変更します。チャンネルは下記のような場合に変更してください。

- ✓ 使用しているチャンネルで干渉がある場合
- ✓ 隣接室などで同じチャンネルを使用している FM ユーザーがいる場合

1. 操作メニューの“チャンネル”から“チャンネル変更”を選択し OK キーを押します。
2. 本体に登録されているチャンネル番号（H91、H92、H96、H98、H99）が表示されます。希望のチャンネルを選択し、OK キーを押します。
3. 忘れずに受信機のチャンネルを同期してください（45 ページ参照）。

8-1b. チャンネル検索

インスパイロと i シリーズ受信機が交信し、干渉の少ない条件の良いチャンネルを検索します。複数の教室で FM システムを使用している際、チャンネル管理に活用してください。

1. i シリーズ受信機が接続された補聴器の電源をオンにします。必要に応じて補聴器を FM 用プログラムに切り替えます。
2. インスパイロを受信機に近付けます（33 ページ参照）。操作メニューの“チャンネル”から“チャンネル検索”を選択し OK キーを押します。インスパイロは受信機と交信し、条件の良いチャンネルを検索します。
3. ディスプレイ上に条件の良いチャンネルが順次表示されます。OK キーを押して選択してください。忘れずに受信機のチャンネルを同期してください。

8-1c. 受信機の同期

インスパイロと一緒に使用する受信機のチャンネルを同期します。

1. 受信機が接続された補聴器の電源をオンにします。必要に応じて補聴器を FM 用プログラムに切り替えます。
2. インスパイロを受信機に近付けます（約 20 cm）。操作メニューの“チャンネル”から“受信機の同期”を選択し、OK キーを押します。インスパイロから信号が発信されます。

3. 実際に話しかけたりして同期状況を確認してください。

8-2. マルチ・トーカー・ネットワーク（MTN）設定

MTN については 37 ページを参照してください。

8-3. 受信機設定

インスパイロから i シリーズ受信機の各種設定を行うことができます。設定は 8 つあります。

No.	設定メニュー名	設定可能な受信機
8-3a	受信機チェック	i シリーズ受信機
8-3b	チャンネル検出	i、S シリーズ受信機
8-3c	登録データ確認	i シリーズ受信機
8-3d	チャンネル情報	i シリーズ受信機
8-3e	チャンネル変更	i、S シリーズ受信機
8-3f	FM 音量微調整	i シリーズ受信機
8-3g	ビープ音の設定	i シリーズ受信機
8-3h	MLxi の設定	MLxi

8-3a. 受信機チェック

受信機チェックについては 33 ページを参照してください。インスパイロのディスプレイ上の受信機ソフトキーでも受信機チェックが可能です。

8-3b. チャンネル検出

講演などの会場で既に送信機が使用されている場合、講演者の使用チャンネルが分からなくても、手持ちのインスパイロが使用されているチャンネルを検出し、自動で受信機を同期することができます。

1. 受信機が接続された補聴器の電源をオンにします。必要に応じて補聴器を FM 用プログラムに切り替えます。
2. インスパイロを受信機に近付けます。操作メニューの“受信機設定”から“チャンネル検出”を選択し OK キーを押します。
3. インスパイロが別の送信機で使用されているチャンネルを検出し、そのチャンネルに受信機を自動で同期させます。聞きたい送信機からの音声が聞こえない場合は再度チャンネル検出を行ってください。

8-3c. 登録データ確認

受信機本体に登録されているデータの読み込みをします。本機能のチェック項目は以下の通りです。

1. 受信機のシリアル番号、登録名（登録されている場合）
2. 受信機のデフォルト・チャンネル番号
3. 使用中のチャンネル番号
4. 受信機をプログラミングした日付

1. i シリーズ受信機が接続された補聴器の電源をオンにします。必要に応じて補聴器を FM 用プログラムに切り替えます。
2. インスパイロを受信機に近付けます（33 ページ参照）。操作メニューの“受信機設定”から“登録データ確認”を選択し OK キーを押します。読み込みを開始します。
3. ディスプレイ上に読み込み結果が表示されます。

8–3d. チャンネル情報

インスパイロと受信機のチャンネル情報の読み込みをします。本機能のチェック項目は以下の通りです。

1. 現在の受信機のチャンネル番号
2. 上記 1 で検出したチャンネル情報
3. 現在のインスパイロのチャンネル番号
4. 同期状況

1. i シリーズ受信機が接続された補聴器の電源をオンにします。必要に応じて補聴器を FM 用プログラムに切り替えます。
2. インスパイロを受信機に近付けます（33 ページ参照）。操作メニューの“受信機設定”から“チャンネル情報”を選択し OK キーを押します。読み込みを開始します。
3. インスパイロのディスプレイ上に読み込み結果が表示されます。

8–3e. チャンネル変更

インスパイロから受信機のチャンネルを変更します。

1. 受信機が接続された補聴器の電源をオンにします。必要に応じて補聴器を FM 用プログラムに切り替えます。
2. 操作メニューの“受信機設定”から“チャンネル変更”を選択します。登録チャンネルが表示されます。インスパイロを受信機に近付けます（約 20 cm）。
3. アップ／ダウンキーで希望のチャンネルを選択し、OK キーを押します。
4. ディスプレイ上のメッセージを確認し、はいソフトキーを押します。インスパイロから信号が発信されます。この際、インスパイロ本体のチャンネルは変更しません。

8–3f. FM 音量微調整

FM 音量を 1 人ひとりの聞こえに応じて微調整することができます。

1. 話し手は普段通りインスパイロと外部マイクロホンを装着してください。
2. 聞き手は i シリーズ受信機が接続された補聴器の電源をオンにします。必要に応じて補聴器を FM 用プログラムに切り替えます。
3. インスパイロを受信機に近付けます（33 ページ参照）。操作メニューの“受信機設定”から“FM 音量微調整”を選択し OK キーを押してください。受信機の検出を開始します。

4. インスパイロのディスプレイ上に受信機の製品名が表示されます。次へソフトキーを押します。メッセージを確認し次へソフトキーを押してください。
5. 普段通りの声の大きさで話しかけながら、聞き手の反応を見て、アップ／ダウンキーで FM 音量を調整します。2 dB ずつ± 8 dB までの調節が可能です。聞こえやすい段階のときに保存ソフトキーを押します。インスパイロからの信号が受信機に届くとビープ音が聞こえます。

8-3g. ビープ音の設定

受信機（補聴器）から聞こえるビープ音の有効／無効を設定します。ビープ音は同期や受信機チェックなどでインスパイロからの信号が受信機まで届いたときに聞こえます。無効に設定するとビープ音が聞こえなくなります。

1. i シリーズ受信機が接続された補聴器の電源をオンにします。必要に応じて補聴器を FM 用プログラムに切り替えます。
2. インスパイロを受信機に近付けます（33 ページ参照）。操作メニューの“受信機設定”から“ビープ音の設定”を選択し OK キーを押します。受信機の検出を開始します。
3. インスパイロのディスプレイ上に受信機の製品名が表示されます。次へソフトキーを押します。ビープ音を有効にしたい場合は有効ソフトキー、無効にしたい場合は無効ソフトキーを押してください。インスパイロから信号が受信機に送

信されます。

8-3h. MLxi の設定（プッシュボタンの設定）

プッシュボタン

受信機 MLxi にはプッシュボタンがついています。出荷時にはプッシュボタンを無効に設定しています（プッシュボタンを押しても反応がない状態）。送信機の種類によっては補聴器側で FM ＋ M ／ FM のようなプログラムの切り替えができない補聴器はプッシュボタンを有効にすることにより、プログラム FM ＋ M ／ FM の切り替えが可能です。

MLxi のプッシュボタンの有効／無効はインスパイロもしくは専用ソフトウェア（FM SuccessWare）より設定できますが、小さなお子様の場合は無効の状態のままにしておくことをおすすめします。

1. MLxi が接続された補聴器の電源をオンにします。必要に応じて FM 用プログラムに切り替えます。
2. インスパイロを受信機に近付けます（33 ページ参照）。操作メニューの“受信機設定”から“MLxi の設定”を選択し OK キーを押してください。
3. プッシュボタンを無効にする場合は無効ソフトキー、有効にする場合は有効ソフトキーを押してください。インスパイロから信号が受信機に送信されます。

ポイント：

✦ **プッシュボタン無効のメリット**

MLxi のプッシュボタンが有効の場合、補聴器の電源をオンにした後、プッシュボタンを長押しして MLxi が起動します。プッシュボタンが無効の場合、補聴器の電源をオンにするだけで MLxi が起動するため、操作が簡単です。また無効にすることより誤操作を防ぐことができます。特に小さなお子様はプッシュボタンを無効の状態のままにしてください。

✦ **補聴器の FM 用プログラムについて**

FM ＋ M は「送信機からの FM 音声」と「補聴器のマイクロホンからの音声」が一緒に聞こえるモード、FM は「送信機からの FM 音声」のみが聞こえるモードです。一般的に聞き手は FM 音声と補聴器のマイクロホンからの音声も一緒に聞くため、通常 FM ＋ M で使用します。

8-4. 音量チェック

音量チェックについては 35 ページを参照してください。

8-5. 各種設定

インスパイロの各種設定を行うことができます。

8-5a	言語の選択
8-5b	アラーム設定
8-5c	日付／時刻設定
8-5d	外部入力設定
8-5e	ディスプレイの設定
8-5f	背景画像設定

8-5a. 言語の選択

インスパイロは異なる言語を表示させることができます。

1. 操作メニューの“各種設定”から“言語の選択”を選択し、OK キーを押します。
2. アップ／ダウンキーで目的の言語を選択して OK キーを押します。全ての表示が選択した言語に切り替わります。

8-5b. アラーム設定

インスパイロは携帯電話のようにアラーム時刻を設定できます。設定した時間にバイブレータが振動してお知らせします。

1. 操作メニューの“各種設定”から“アラーム設定”を選択し、OK キーを押します。
2. “アラーム設定”を選択し、OK キーを押します。アップ／ダウンキーでオン／オフを選択します。
3. “アラーム時刻”を選択し、OK キーを押します。アップ／ダウンキーで時刻を入力します。1 桁の入力が終わり OK キーを押すと、次の桁を入力することができます。入力後、保存ソフトキーを押してください。
4. アラーム設定が完了すると上段にベルマークが表示されます。
5. アラーム時刻になるとバイブレータが振動し、ディスプレイ上にメッセージが表示されます。アラームを止めるには OK キーを押してください。

8-5c. 日付／時刻設定

インスパイロは日付と時刻を設定することができます。

日付表示 例）2008 年 12 月 1 日の場合		時刻表示 例）午後 1 時 30 分の場合	
日 / 月 / 年	01/12/2008	12 時間表示	01:30 pm
月 / 日 / 年	12/01/2008	24 時間表示	13:30

1. 操作メニューの“各種設定”から“日付／時刻設定”を選択し、OK キーを押します。
2. “日付”を選択し、OK キーを押します。アップ／ダウンキーで日付を入力します。
3. “日付表示”を選択します。アップ／ダウンキーで“日 / 月 / 年”もしくは“月 / 日 / 年”を選択し OK キーを押します。
4. “時刻”を選択し、OK キーを押します。アップ／ダウンキーで時刻を入力します。
5. “時刻表示”を選択します。アップ／ダウンキーで“12 時間表示”もしくは“24 時間表示”を選択します。

8-5d. 外部入力設定

インスパイロはテレビ、CD/MD プレーヤー、MP3 プレーヤー、パソコンなどの外部入力機器（オーディオ機器）と接続することができます（30 ページ参照）。外部入力機器と接続した際、外部マイクロホン（iLapel、iBoom）のオン（外部入力音と一緒に外部マイクロホンが拾う音声も届ける状態）／オフ（外部入力音のみを届ける状態）を設定できます。

1. 操作メニューの“各種設定”から“外部入力設定”を選択し、OK キーを押します。
2. “オーディオ機器”を選択し OK キーを押します。接続する機器が iPod nano の場合は“iPod nano”、iPod nano 以外の機器（テレビ、ラジカセ、パソコンなど）の場合は“その他の機器”を選択し、OK キーを押します。
3. “マイクの設定”を選択し OK キーを押します。外部入力機器を接続したときもマイクロホンを使用できる状態に設定したい場合は“マイク オン”、外部入力の音声のみを届ける状態に設定したい場合は“マイク オフ”を選択します。

8-5e. ディスプレイの設定

インスパイロのディスプレイの明るさ、消灯時間（バックライト）、画面オフ設定を設定することができます。消灯時間、画面オフを設定することにより、バッテリーを節約できます。

1. 操作メニューの“各種設定”から“ディスプレイ”を選択し、OK キーを押します。
2. “明るさ”を選択し OK キーを押します。アップ／ダウンキーでお好みの明るさを選択し、保存ソフトキーを押します。
3. “消灯時間”を選択し OK キーを押します。アップ／ダウンキーで希望の時間を選択し、OK キーを押します。
4. “画面オフ設定”を選択し OK キーを押します。アップ／ダウンキーで希望の時間を選択し OK キーを押します。

8-5f. 背景画像設定

ディスプレイの背景画像を選択することができます。

1. 操作メニューの“各種設定”から“背景画像設定”を選択し、OK キーを押します。
2. アップ／ダウンキーで背景画像が切り替わります。お好みの背景画像を選択し保存ソフトキーを押します。

8-6. ヘルプ

インスパイロのヘルプメニューがまとめられています。

8-6a	**操作ガイド** インスパイロのメニュー構成を表示します。
8-6b	**ホームページ** 弊社ホームページを表示します。
8-6c	**お問い合わせ先** カスタマーサービスの連絡先を表示します。
8-6d	**機器情報** 本体の機器情報を表示します。 シリアル番号、ソフトウェアバージョン、ハードウェアバージョン、DSP バージョン、機能設定

※ ホームページおよびお問い合わせ先は専用ソフトウェア（FM SuccessWare）でお好みのホームページや電話番号を登録することができます。

9. トラブルシューティング

状況）インスパイロの電源が入らない。
原因）インスパイロのバッテリーが切れている可能性があります。インスパイロを充電してください。フル充電には約 2 時間かかります。

状況）話し声がはっきりと聞こえない。
原因 1）マイクロホンの取り付け位置が適切ではない可能性があります。マイクロホンを話し手の口元に近付けてください（15〜20 cm）。iLapel の場合、マイクロホンが縦に向くよう取り付け、マイクロホンの穴を手で覆わないようにしてください。音量チェック機能で声の大きさと室内の騒音レベルを確認できます（35 ページ参照）。
原因 2）インスパイロと受信機が離れすぎている可能性があります。聞き手との距離を変えながら話してみてください。
原因 3）インスパイロの外部マイクロホン（iLapel、iBoom）が本体にしっかりと差し込まれていない可能性があります。本体裏面のカバーを取り外し、マイクロホンの接続状態を確認してください。
原因 4）聞き手の聞こえによって FM 音量が小さい可能性があります。i シリーズ受信機（MLxi、ML9i、ML10i、ML11i、ML12i、MyLink+ など）の場合、FM 音量の微調整が可能です。49 ページを参照してください。

状況）インスパイロの電源がオンになっているのに音声が聞こえない。
原因 1）インスパイロのマイクロホンがミュートになっている可能性があります。ミュートになっている場合、解除してください（29 ページ）。
原因 2）受信機が補聴器にしっかりと接続されていない可能性があります。しっかりと接続されていることを確認してください。
原因 3）補聴器、受信機の電源がオフになっている可能性があります。補聴器、受信機の電源がオンになっていることを確認してください。受信機 MicroMLxS の場合、スイッチの位置を「●」もしくは「●●」にしてください。
原因 4）補聴器が FM 用プログラムに切り替わっていない可能性があります。FM 用プログラムに切り替えてください。
原因 5）インスパイロと受信機のチャンネルが同期されていない可能性があります。受信機をインスパイロの 20 cm 以内に近付け、同期ソフトキーを押してください。インスパイロからの信号が受信機に届くとビープ音が聞こえます。

状況）使用できる距離が短い。
原因 1）マイクロホンのコードがインスパイロ本体に巻かれていたりねじれていたりしませんか。マイクロホンのコードはアンテナを兼ねています。外部入力機器を接続した状態でもマイクロホンのコードは全てほどき、伸ばした状態にしてください。
原因 2）マイクロホンのコードが傷ついたり切れていたりしませんか？修理が必要です。マイクロホンの取り扱いには十分注意してください。

状況）補聴器から別の声やノイズが聞こえる。
原因）近くで同じチャンネルを使用している送信機がある可能性があります。インスパイロを他のチャンネルに変更してみてください。その際、チャンネル検索機能により、干渉の少ないチャンネルを検索することができます（45 ページ）。

状況）受信機チェック機能などで受信機の読み込みがうまくいかない。
原因 1）お使いの受信機は i シリーズですか。受信機チェック、チャンネル検出、登録データ確認、チャンネル情報、FM 音量微調整、ビープ音の設定は i シリーズ受信機のみで可能です。
原因 2）33 ページの写真を参照してインスパイロと受信機の位置を調節し直してください。同時に 2 台の受信機の読み込みをする場合は多少時間がかかります。またパソコンなどの電磁波の影響を受けることがあるため、読み込みの際はパソコンから離れて行ってください。

原因 3）補聴器のバッテリー残量は十分にありますか？バッテリー残量が十分にあることを確認してください。
原因 4）補聴器、受信機の電源はオンですか？電源がオンになっていることを確認してください。MLxi のプッシュボタンを有効に設定した場合、プッシュボタンを 2 秒間長押しする必要があります（51 ページ参照）。

状況）インスパイロの電源をオンにしてもディスプレイが点灯せず、真っ暗のままです。または操作ボタンを押してもディスプレイがフリーズした状態です。
対処）インスパイロをリセットします。   1. インスパイロの電源をオンの状態にします。ディスプレイは真っ暗の状態、またはフリーズした状態のままで構いません。 2. 右図の通り、インスパイロの 4 つのボタンを**同時に**押します。 3. インスパイロの電源をオフの状態にします。 4. ディスプレイが一瞬点灯しますが、また暗く戻ります。リセットが完了です。 5. インスパイロをリセットすると日時もリセットされます。操作メニューの “各種設定” から “日付／時刻設定” を行ってください（55 ページ参照）。

10. 保証期間とアフターサービス

- 本製品（インスパイロ本体、付属の外部マイクロホン、AC アダプター）の無償保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。
- 不具合がある場合は修理します。
- 無償保証期間が過ぎて不具合がある場合、有償修理となります。
- 保証期間内であっても、お客様による誤った使用、過失、改造による故障の場合、有償修理となる場合があります。
- 製品に同梱されている保証書に「販売店名」、「お買い上げ日」などが記載されていることを確認し、大切に保管してください。
- 修理を依頼する際、お求めの販売店までご連絡ください。修理の際には保証書が必要です。
- 本製品のバッテリー交換は有償となります。
- 本製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

11. 補足

補足 1：FM チャンネル

フォナック FM 製品には干渉の可能性が低い組み合わせの 5 つのチャンネル H91、H92、H96、H98、H99 が登録されています。干渉ノイズが発生したり、隣り合う部屋で FM ユーザーがいたりする場合、チャンネルを変更してください。

標準規格	周波数帯（MHz）	フォナック登録チャンネル	干渉の少ないチャンネル※2
M01	169.4125	H91※1	H96、H98、H99
M02	169.4375		
M03	169.4625		
M04	169.4875	H92	H96、H98、H99
M05	169.5125		
M06	169.5375		
M07	169.5625		
M08	169.5875		
M09	169.6125		
M10	169.6375	H96	H91、H92、H99
M11	169.6625		
M12	169.6875		
M13	169.7125	H98	H91、H92
M14	169.7375		
M15	169.7625		
M16	169.7875	H99	H91、H92、H96

※ 1：通常、受信機のデフォルト・チャンネルは H91 に設定されています。デフォルト・チャンネルは変更することができます。デフォルト・チャンネル変更希望の際は販売店までお問い合わせください。

※ 2：隣接した教室（上下左右の教室）で FM システムを使用する際は干渉の少ないチャンネルを組み合わせて使用する必要があります。例えば隣の教室が H91 チャンネルの場合、その隣の教室は H96、H98、H99 チャンネルから選択してください。

※ 3：インスパイロ（送信機）にはデフォルト・チャンネル機能がありません。インスパイロの電源をオンにすると直前に使用していたチャンネルが表示されます。

補足 2：外部マイクロホンの交換

1. マイクロホンのコードをほどきます。
2. 本体裏面にあるボタンを反時計回りに回し、カバーを外します。

3. マイク接続部下にストッパーがあります。先の細いペンなどでストッパーを押し込みながらマイクプラグの溝に爪を差込み、ゆっくりと引き抜きます。コード部分を引っ張りすぎると断線の原因となりますので注意してください。

4. マイクの差し込む方向を合わせながら、しっかりと差し込んでください。

Memo

名前		
住所		
一緒に使用する受信機の型式	右耳	左耳
補聴器（人工内耳）のメーカー、型式	右耳	左耳

グループ・カンパニーの詳細および最新の情報
フォナック FM ブログ：http://phonakfm.blogspot.com/
フォナック社ホームページ：www.phonak.com

インスパイロ クイックガイド

本ガイドではインスパイロの基本的な取り扱いを記載しています。切り取り線から切り離して携帯できますので、学校の先生に渡すなどしてお役立てください。取り扱いの詳細については取扱説明書を参照してください。

1）インスパイロについて

インスパイロは学校生活用にデザインされた Dynamic（ダイナミック） FM（エフ・エム） システム送信機です。従来の FM システムより騒音下での聞き取りが大きく向上したほか、キーロック、ミュート、チーム・ティーチングなど学校の授業で活用できる機能を搭載しています。

2）インスパイロ本体の名称

① 電源オン／オフ スイッチ
② ディスプレイ画面
③ ソフトキー
④ キーロック／リターンキー
⑤ マイクロホン ミュートキー
⑥ アップ／ダウンキー
⑦ OK キー

3）ディスプレイの名称

A. マイクロホンマーク
B. キーロックマーク
C. バッテリーマーク
D. 日付／時刻
E. 使用中のチャンネル番号
F. シリアル番号（または登録名）
G. ソフトキーの操作メニュー

4）インスパイロの役立つポイント（取扱説明書 10 ページ）

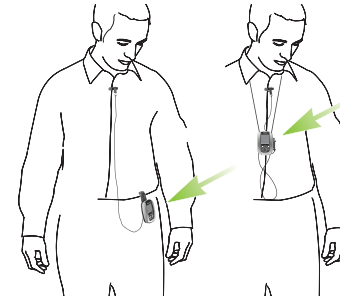
- 使用可能時間：フル充電の状態で約 10 時間
- 充電時間：フル充電で約 2 時間
- 使用可能距離：最大 30 m

5）充電（取扱説明書 16 ページ）

1. 付属の AC アダプターの電源プラグをコンセント、ミニ USB コネクターを本体底面にある充電用端子に差し込みます。
2. 充電が開始されます。

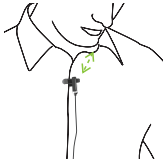
6）本体の装着（取扱説明書 18 ページ）

付属のベルト用クリップ（左）もしくはネックストラップ（右）を使用してインスパイロ本体を装着します。

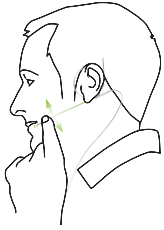


7）外部マイクロホンの装着（取扱説明書 21 ページ）

下図のようにマイクロホンを装着します。マイクロホンのコードはアンテナを兼ねているため、使用中はコードを伸ばした状態で使用してください。



← iLapel の場合
口元から 15-20 cm 以内に取り付けてください。
マイクロホンが縦に並ぶようにしてください。



iBoom の場合→
イヤーループ部分を調節し耳に装着します。
先端部が口元に近付くよう調節してください。

8）電源をオンにする（取扱説明書 25 ページ）

本体上面の電源スイッチを左にスライドさせます。
緑マークが見えます。
電源をオフにする際はスイッチを右に戻します。

9）受信機のチャンネルを同期する（取扱説明書 26 ページ）

フォナック FM 製品には干渉の可能性が低い組み合わせの 5 つのチャンネル H91、H92、H96、H98、H99 が登録されています。FM 電波を受信するために受信機をインスパイロと同じチャンネルに同期しておく必要があります。受信機のデフォルト・チャンネルがインスパイロに表示されているチャンネルと一致している場合、同期操作は必要ありません。

10）使用前の確認（取扱説明書 27 ページ）

1. 話し手はインスパイロを使用する前に以下の点を確認してください。
   - ❒ インスパイロの電源がオンで、バッテリーが切れていないこと
   - ❒ マイクロホンが正しい位置に取り付けられていること
   - ❒ マイクロホンがミュートになっていないこと
   - ❒ 受信機が接続された補聴器の電源がオンになっており、必要に応じて FM 用プログラムに切り替えられていること
   - ❒ インスパイロと受信機のチャンネルが同期されていること
2. 普段通りの声の大きさとスピードで話してみてください。聞き手の反応を見ながら音声がきちんと届いているかどうかを確認してください。またインスパイロの電源をオンにした後は聞き手に煩わしい音が聞こえてしまわないようマイクロホン部位を触らないようにしてください。マイクロホンの位置を直す際はミュート機能を活用してください。

11）授業中での便利な機能

● キーロック機能（取扱説明書 28 ページ）

インスパイロにはキーを押しても反応しない状態にする誤操作防止（キーロック）機能があります。授業中は常にキーロックをオンにすることをおすすめします。

● ミュート機能（取扱説明書 29 ページ）

生徒に音声を聞かせたくないときはマイクロホンのミュート機能が便利です。ミュートキーを押すことでミュート オン／オフの切り替えができます。

※マルチ・トーカー・ネットワークについては取扱説明書 37 ページを参照してください。